

鳥取県教育委員会ミッションに基づく 平成19年度事業目標と中間評価 (平成19年9月末時点)

<目次>

○知徳体のバランスのとれた教育	1
○学校の役割の明確化と機能強化	6
○生涯学習環境の整備と活動支援	12
○家庭・地域との連携・啓発	19

【知徳体のバランスの取れた教育】

主要課題	平成19年度目標	担当課	平成19年9月末時点の中間評価		
			達成度の評価	主な取組状況	ミッションを達成するための課題・問題点 〔※達成度の評価が×△の項目は必ず記載〕
○学力向上の推進	①指導主事の指導助言のための研究指定校への学校訪問の充実 【数値目標】 研究指定校の訪問：年1回以上	小中学校課	○	・新規の研究指定校については、5月中に訪問を実施し、事業の説明や経費・研究内容について協議を行った。10月～12月にかけて、協議会や研究会を持つ学校が多いので、今後はそれに併せて訪問していく予定。	
	②鳥取県学力向上委員会を立ち上げ小・中・高等学校の一貫した鳥取県の総合的な学力向上対策への取組		○	・年度内に委員会を5回開催する予定。8月21日に第1回委員会を開催し、10月18日に第2回委員会を開催する予定。	
(学力向上推進プロジェクト)	①実践事例集(CD)の活用を学校に指導 【数値目標】全校	教育センター	○	・主事派遣等での普及 ・教科リーダー研修、専門講座での普及PR ・専門部会における実践事例Ⅲの開発	
	①生徒・保護者への満足度アンケートの集約・分析 【数値目標】隔年実施	高等学校課	○	○高等学校のあり方に関する意識調査の実施 ・高校2年の生徒、保護者(H19.3実施) ・中学2年の生徒、保護者、教職員(H19.4実施) →分析終了、分析結果とりまとめ未了 ○各県立学校では、それぞれの生徒の実状に応じて、それぞれの工夫を生かした取組を展開中 →とりまとめて公表し、良い取組は他校へ波及予定 <必要なものはH20当初予算要求予定> ◇進学指導スキルアップ教員研修事業 ◇進路選択のための大学・企業等での生徒研修事業 ◇アントレプレナー教育推進事業 ◇基礎学力定着のための学生教育ボランティアの活用	各学校の生徒の状況は大きく異なることから、全県一律の意識調査では推し量れないものがある。 H19から全校で外部評価を導入したことから、この成果を活用して、各学校ごとに、その取組を検証していくことが望ましいと考えられる。
○学校の課題解決能力の向上	①指導助言のための学校訪問を充実 【数値目標】全校を年2回以上	東部教育局	○	学事係、学校教育係による学校訪問実施 7月末までに全校1回訪問済	
○内発的改善力を持つ学校への転換	①授業改善等の指導助言のための学校訪問 【数値目標】全校を年2回以上	中部教育局	○	・全校(42校)1回以上訪問	

- 注) 1. 「達成度の評価」欄には、順調に達成しているものは◎、概ね順調に達成しているものは○、達成見込みだが若干課題があるものは△、順調でないものは×を記入してください。
2. 「ミッションを達成するための課題・問題点」欄は、「達成度の評価」欄に×を記入したものののみ記入してください。

主要課題	平成19年度目標	担当課	平成19年9月末時点の中間評価		
			達成度の評価	主な取組状況	ミッションを達成するための課題・問題点 (※達成度の評価が×△の項目は必ず記載)
	②特別支援学級、通級指導教室等の訪問による特別支援教育ネットワークづくり 【数値目標】学級等訪問年2回以上	中部教育局	○	<ul style="list-style-type: none"> 特別支援学級訪問 29校訪問(37校中) 新設特別支援学級 全学級訪問(8学級) 通級指導教室 3教室訪問(4教室中) 中部地区特別支援教育マップの作成 	
○学校の課題解決能力と教職員の資質能力の向上 (学校管理職のマネジメント能力の向上)	①トップリーダー学校組織マネジメント研修の効果的な実施 【数値目標】年2回	西部教育局	○	<ul style="list-style-type: none"> 5月に第1回目を実施した。10月に2回目を実施予定である。 管理職の他に地教委担当者の参加があり、それぞれの立場での研修ができた。実施後のアンケートでは、概ね参考になったという評価をいただいている。新任管理職の参加が多く学校組織マネジメントを活用した学校運営についての意識は高まったと思う。 	
	①ミドルリーダー学校組織マネジメント研修の効果的な実施 【数値目標】年2回		◎	<ul style="list-style-type: none"> 計画通り第1回を7月に実施した。 研修内容や方法を生かした学校での取り組み事例の提供があった。 	
	(教職員の問題解決能力の向上) ②各学校の自律性を高めるための学校訪問 【数値目標】各学校年2回以上		○	<ul style="list-style-type: none"> 市町村主催の計画訪問を契機に、教育活動の課題解決に向けて授業研究会等を設定された学校が数校あり意見交換が実施できた。 学校長がどのような学校運営を行っているのか、また、どのような課題等があるのかについて、校長との面談を年間2回実施している。5月～6月に、すべての小中学校に講師訪問という形で訪問した。9月～11月には、本務者訪問という形で2回目の訪問を予定している。また、計画訪問や要請訪問に学校教育係とともに訪問し、学校の課題等について協議をしている。 	
○豊かな人間性、社会性の育成	①道徳の時間の授業数の確保 【数値目標】年間35時間(小1は34時間)	小中学校課	○	<ul style="list-style-type: none"> 東中西の地区別に研修会を開催し、道徳担当者に対して道徳の時間の質の向上に向けて標準時間を確保するように指導した。その後、校長会連絡を通して研修会の内容を伝えるとともに、標準時間の確保について依頼した。 	
	②全校一斉読書の実施校の拡充 【数値目標】小中学校とも全校実施		○	<ul style="list-style-type: none"> 司書教諭連絡協議会を6月に小・中学校別に開催し、学校図書館の活用促進のための司書教諭の役割を研修した。その中で、全校一斉読書の実施についても呼びかけを行った。 	

- 注) 1. 「達成度の評価」欄には、順調に達成しているものは◎、概ね順調に達成しているものは○、達成見込みだが若干課題があるものは△、順調でないものは×を記入してください。
2. 「ミッションを達成するための課題・問題点」欄は、「達成度の評価」欄に×を記入したもののみ記入してください。

主要課題	平成19年度目標	担当課	平成19年9月末時点の中間評価																																
			達成度の評価	主な取組状況	ミッションを達成するための課題・問題点 〔※達成度の評価が×△の項目は必ず記載〕																														
	③不登校、いじめなどの学校が抱える問題の早期対応に向けた取組を推進	小中学校課	○	<ul style="list-style-type: none"> 7月に不登校対応ネットワークシステム検討委員会を開催した。 スクールカウンセラーを全中学校に配置し、研修会を6月に開催した。 																															
	③不登校、中途退学、問題行動等の出現率減少 【数値目標】 ○スクールカウンセラー配置校数の増19校→21校 ○教育相談員による教職員研修等の実施 ・校長会、養護教諭研究会における講義各1回 ・教職員に対するカウンセリング能力向上研修会各地区各1回 ・スクールカウンセラー研修会3回	高等学校課	△	○総じて微増傾向（不登校にあつては急増傾向）にある。 <table border="1"> <caption>県立高校の生徒状況 (発生率)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>暴力行為 (/1,000人)</th> <th>不登校 (/100人)</th> <th>中途退学 (/100人)</th> <th>いじめ (/1,000人)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H14</td> <td>2.4</td> <td>0.8</td> <td>1.7</td> <td>0.2</td> </tr> <tr> <td>H15</td> <td>2.1</td> <td>1.0</td> <td>1.4</td> <td>1.3</td> </tr> <tr> <td>H16</td> <td>4.0</td> <td>1.2</td> <td>1.5</td> <td>0.7</td> </tr> <tr> <td>H17</td> <td>2.5</td> <td>1.7</td> <td>1.5</td> <td>0.4</td> </tr> <tr> <td>H18</td> <td>4.0</td> <td>1.7</td> <td>1.6</td> <td>1.1</td> </tr> </tbody> </table>	年度	暴力行為 (/1,000人)	不登校 (/100人)	中途退学 (/100人)	いじめ (/1,000人)	H14	2.4	0.8	1.7	0.2	H15	2.1	1.0	1.4	1.3	H16	4.0	1.2	1.5	0.7	H17	2.5	1.7	1.5	0.4	H18	4.0	1.7	1.6	1.1	今年度中途からの教育相談員の配置であり、この効果は、今後において現れてくるものと予想される。 各学校への効率的な対応を考えると、教育相談員の各教育局への配置が好ましく、次年度に向けてさらに1名を定数要求したいと考えている。
年度	暴力行為 (/1,000人)	不登校 (/100人)	中途退学 (/100人)	いじめ (/1,000人)																															
H14	2.4	0.8	1.7	0.2																															
H15	2.1	1.0	1.4	1.3																															
H16	4.0	1.2	1.5	0.7																															
H17	2.5	1.7	1.5	0.4																															
H18	4.0	1.7	1.6	1.1																															
				○2人目の教育相談員の10月からの配置により22校でカウンセリングを実施（教育相談員2人、スクールカウンセラー10人） ○教育相談員による教職員研修等の実施 ・校長会における講義：今後計画 ・養護教諭研究会における講義：今年度未実施 ・教職員に対するカウンセリング能力向上研修：10/26全県対象で実施 ・スクールカウンセラー研修会：7/18/19、8/21、11/中旬、2/上旬																															

注) 1. 「達成度の評価」欄には、順調に達成しているものは◎、概ね順調に達成しているものは○、達成見込みだが若干課題があるものは△、順調でないものは×を記入してください。
 2. 「ミッションを達成するための課題・問題点」欄は、「達成度の評価」欄に×を記入したもののみ記入してください。

主要課題	平成19年度目標	担当課	平成19年9月末時点の中間評価		
			達成度の評価	主な取組状況	ミッションを達成するための課題・問題点 〔※達成度の評価が×△の項目は必ず記載〕
	④体験（保育、福祉、自然）活動の推進 【数値目標】20校→22校	高等学校課	◎	○平成19年度において22校で実施又は計画中	
(文化芸術活動の推進)		高等学校課	◎	○楽器、茶道具、その他文化部備品の整備経費を支援 ○郷土芸能（日野高校「荒神神楽」大蛇）整備 ○伝統芸能等海外公演（智頭農林「カナダ」派遣）支援 ○高文連補助、複数校による合同練習会等支援	
○キャリア教育の推進	①中学校の職場体験学習実施率の向上 【数値目標】59校→全校（60校）	小中学校課	×	・本年度、リーフレット「キャリア教育の推進に向けて」を全教職員に配布し、研修等で使用するなどして、キャリア教育の浸透と体験活動の推進を図っている。 ・研修の機会をとらえて、5日間の職場体験学習の有効性を理解してもらい、実践していくよう働きかけている。 ・未実施校と1日だけの実施である学校に対して、国の事業である「キャリアスタートウィーク」の指定を受け、5日間の職場体験学習に取り組んでいただくよう要請。	国の事業である「キャリアスタートウィーク」の指定は、希望がなかった。
	①インターンシップの充実 【数値目標】 職業系専門学科において卒業までに現場体験を80%の生徒が体験 ②専門に関する資格の取得促進 【目標】職業系専門学科の全生徒は在学中に何らかの資格を取得	高等学校課	◎	○平成19年度は計画どおり実施中 職業系専門学科の生徒においては卒業までに80%の生徒が体験する予定	
			△	○工業、家庭学科は達成見込 ○農業学科では、現在のところ半数程度であり、各学校で引き続き努力しているところ。	体験活動やインターンシップなどを通して、就きたい仕事の希望を持たせ、その仕事に必要な資格の取得を促していく。

- 注) 1. 「達成度の評価」欄には、順調に達成しているものは◎、概ね順調に達成しているものは○、達成見込みだが若干課題があるものは△、順調でないものは×を記入してください。
2. 「ミッションを達成するための課題・問題点」欄は、「達成度の評価」欄に×を記入したもののみ記入してください。

主要課題	平成19年度目標	担当課	平成19年9月末時点の中間評価		
			達成度の評価	主な取組状況	ミッションを達成するための課題・問題点 (※達成度の評価が×△の項目は必ず記載)
	③地域産業との連携による産業教育の充実 【数値目標】 連携を行う学校数：4校→7校	高等学校課	◎	○平成19年度は計画どおり7校で実施中 1年目（鳥取湖陵・米子南・境港総合技術） 2年目（鳥取工業・鳥取商業・倉吉総合産業・米子工業） ○さらに国事業「工業高校実践教育導入事業（ものづくり人材育成のための専門高校・地域産業連携事業）」を導入し、3校（鳥取工業、倉吉総合産業、米子工業）で、地元産業界のニーズに対応した連携方策やモデルプログラムを検討、実施中である。	
○学校の人権教育の促進	①市町村主催人権教育主任会への指導 【数値目標】全市町村：年1回以上 ②指導主事による計画訪問及び巡回指導 【数値目標】県立：全校年2回以上 小・中：30校以上	人権教育課	◎	全市町村で指導済み 延べ25回	
			◎	県立学校訪問 全校1回実施済み ※2回目を10月に予定 小・中学校巡回指導 28校（延べ44回）実施	
○健やかな心身の育成 (健康教育(性、食育)の充実)	①校内性教育推進委員会の設置率の向上 【数値目標】 小32%・中73%・高100%・養護等78%→100%(H19)	体育保健課	現時点では評価できない (1月に調査)	○性教育・エイズ教育研修会において、各校における推進委員会の必要性を説明し、設置を進めるよう呼びかけた。 ○性教育指導者養成研修会（各教育局・県立学校・市町村における指導者の育成を目的とした研修会）で、各学校における組織的な取り組みの必要性を呼びかけている。	
	②栄養教諭のモデル配置 【数値目標】 0人→3人(H19)		◎	○8月1日付けで3名の栄養教諭を配置した。 ○配置先の市町村において、文部科学省委託事業の「栄養教諭を中核とした学校・家庭・地域の連携による食育推進事業」を鳥取県の食育推進のモデルとして実施する。	

- 注) 1. 「達成度の評価」欄には、順調に達成しているものは◎、概ね順調に達成しているものは○、達成見込みだが若干課題があるものは△、順調でないものは×を記入してください。
2. 「ミッションを達成するための課題・問題点」欄は、「達成度の評価」欄に×を記入したもののみ記入してください。

【学校の役割の明確化と機能強化】

主要課題	平成19年度目標	担当課	平成19年9月末時点の中間評価		
			達成度の評価	主な取組状況	ミッションを達成するための課題・問題点 〔※達成度の評価が×△の項目は必ず記載〕
○市町村教育委員会との連携を強化		東部教育局	△	<ul style="list-style-type: none"> 市町教育委員会との意見交換会 5月開催（年2回開催予定） 学校教育担当指導主事等連絡協議会 7月開催（年3回開催予定） 指導主事レベルアップ研修会の開催（適宜） 	市と4町とは規模の違いもあり、特に市との意識の共有には課題がある。今後も意見交換などを蜜にしていく。
○校長会との連携を強化	①学校課題の把握と解決のための意見交換会の実施 【数値目標】年1回以上		○	<ul style="list-style-type: none"> 東部地区幼・小・中の校（園）長の代表と意見交換会を5月に実施 月1回開催される校長会に出席 	
○市町教育委員会の自立度を高める支援と協働	①学校教育担当者会、指導主事等研修会の開催 【数値目標】各3回以上 ②生涯学習・人権教育合同研究協議会の開催 【数値目標】各市町年1回以上	中部教育局	○	<ul style="list-style-type: none"> 学校教育担当者会 2回実施（4/19, 5/25） サービス研修、情報提供・交換 指導主事研修会 2回実施（5/29, 7/1） 学校組織マネジメント、学校支援ボランティア 	合同研究協議会は希望制であるが、各市町に協議の機会がもてるよう働きかけていく
			×	<ul style="list-style-type: none"> 11月に湯梨浜町、12月に琴浦町で実施予定 	
○市町村教育委員会との連携を強化 ↓ ○市町村教育委員会の自立性の向上	①西部地区市町村教育長教育懇談会の開催 【数値目標】年1回 ②市町村教育委員会指導主事連絡協議会の開催 【数値目標】年2回 ③市町村合同研究協議会（生涯学習・人権教育）の開催 【数値目標】全市町村年1回実施	西部教育局	△	<ul style="list-style-type: none"> 19年度については、西部地区市町村教育長教育懇談会はまだ開催していない。11月を予定している。それぞれの地教委の課題を共有するために、日頃から、情報の交換を行っている。 	町村からの要請を受けて町村教育長会に情報提供、意見交換を行い相互理解を深めた。（2回） 昨年からの連絡協議会の結果として、1市1町主催の研修会に局職員を派遣し、協働して企画運営ができた。希望がなく実施できなかった2町については、町村連絡協議会等を通じて実施できるよう働きかけていく。
			○	<ul style="list-style-type: none"> 計画通り第1回を8月に実施した。 市町村ごとに実態に応じた協議内容を設定し実施した。協議の中から連携すること、役割分担をすすめることが明らかになった。 	
			△	<ul style="list-style-type: none"> 西部地区9市町村のうち、7市町村での実施となり、100%の実施ができなかった。実施できなかった2町については、西部教育局で聞き取りを行う予定である。また、この2町については、来年度実施への呼びかけを行いたい。 	
○学校評議員の設置	①設置率の向上 【数値目標】 90.9%→100%	小中学校課	△	<ul style="list-style-type: none"> 新たに学校評議員が設置された学校があり、設置率が90.9%から92.0%に向上した。 未だ未設置の市町村及び学校には、今後さらに個別に設置についてお願いをしていく。 	設置に向けての市町村教育委員会への働きかけが不十分。

- 注) 1. 「達成度の評価」欄には、順調に達成しているものは◎、概ね順調に達成しているものは○、達成見込みだが若干課題があるものは△、順調でないものは×を記入してください。
2. 「ミッションを達成するための課題・問題点」欄は、「達成度の評価」欄に×を記入したもののみ記入してください。

主要課題	平成19年度目標	担当課	平成19年9月末時点の中間評価		
			達成度の評価	主な取組状況	ミッションを達成するための課題・問題点 〔※達成度の評価が×△の項目は必ず記載〕
○学校評価の推進	①自己評価の公表率の向上 【数値目標】小・中：100%	小中学校課	×	・市町村教育委員会との懇談会等で、昨年度の実施状況資料を提示し、改善に向けた取組を依頼した。 ・学校計画訪問の時、指導主事が指導助言している。 ・市町村教育委員会の要請に応じた管理職対象の外部評価研修会で指導助言をした。	各学校のホームページの開設や推進地域の実践事例の紹介等情報提供が必要。(県教育研究発表会・成果還元としての報告書配布等) 各学校の学校評価推進委員会等体制の強化や、実施に向けての市町村教育委員会への働きかけが不十分。
	①外部評価の導入率の向上 【数値目標】小・中：100%		×		
○県立学校施設の整備促進	①鳥取西高校・米子工業高校の改築促進	教育環境課	◎	・平成19年6月に基本計画完了。 ・平成19年11月を目途に基本設計の委託に向けて、企画提案書評価委員会を8月に設置。 ・平成19年7月に文化財調査を委託。 ・平成19年8月に実施設計を委託。	
	①鳥取西高校：基本設計の概成 現状変更許可申請手続の着手		◎		
	②米子工業高校：実施設計の概成と文化財調査の実施		◎		
○県立学校の耐震化推進	①県立学校耐震化計画の策定 【目標】耐震化計画の策定		◎	・平成19年6月に平成18年度に実施した耐震診断結果を公表。 ・平成19年度9月補正予算で、18年度に実施した耐震診断結果により耐震補強が必要な建物の耐震補強計画委託料を計上。(19～20年度継続費)	
○県立学校裁量予算制度の充実	①県立学校裁量予算制度の効果的運用 【数値目標】評価検討委員会の開催：年3回		◎	平成19年度第1回評価検討委員会を6月29日に開催。 ・平成18年度決算報告、繰越制度、平成19年度学校運営方針等について協議した。	
○幼児教育の充実	①幼児教育担当指導主事による公立幼稚園・保育所訪問の充実 【数値目標】全園(247)を年1回以上	小中学校課	○	・9月末の訪問回数(延べ数)は124回。そのうち、要請を受けての訪問が半数を占め、各市町村教育委員会主催の幼稚園計画訪問にも同行。園数では、76園(約32%)の訪問を実施。10月以降は、私立幼稚園の計画訪問、保育所(園)への巡回訪問を実施予定。	

- 注) 1. 「達成度の評価」欄には、順調に達成しているものは◎、概ね順調に達成しているものは○、達成見込みだが若干課題があるものは△、順調でないものは×を記入してください。
2. 「ミッションを達成するための課題・問題点」欄は、「達成度の評価」欄に×を記入したもののみ記入してください。

主要課題	平成19年度目標	担当課	平成19年9月末時点の中間評価			
			達成度の評価	主な取組状況	ミッションを達成するための課題・問題点 〔※達成度の評価が×△の項目は必ず記載〕	
○特別支援教育の充実	①特殊教育免許保有率の向上 【数値目標】 小・中・高 : 10% 特別支援学校 : 75%→90%	特別支援教育室	△	※特別支援学校免許保有率 (H19・4現在) 特別支援学校 77% 小・中学校特別支援学級 39% ※免許法認定講習(特別支援学校教諭普通免許状(二種)) 受講の状況 (平成19年7~8月実施) 「障害児教育論」48名受講 「視覚障害児の病理」78名受講 「視覚障害児指導法」65名受講 「知的障害児の病理」46名受講 「知的障害児指導法」47名受講 のべ284名受講	・特別支援学校へ異動した教員及び未習得の在職職員の免許取得の促進をしたい。	
	②新設の特別支援学級及び高等学校への訪問による指導の充実 【数値目標】 関係学校を年1回以上		○	・小・中学校に新設の特別支援学級38学級のうち16学級訪問 (22学級は今後訪問予定) ・新設学級以外に要請により2学級訪問し、指導助言 (高等学校) ・県立学校24校のうち8校訪問し、特別支援教育体制について聴き取りと指導助言を実施		
	③教育委員会事務局での受入 【数値目標】10人→20人		×	※職場実習の受入 教育委員会事務局及び知事部局での受入 6月 1名 (教育委員会) 9月 6名 (教育委員会及び知事部局)		各特別支援学校への趣旨等の周知が不十分であったため。これから、今後の実習の受入れについて再度周知していきたい。(平成19年11月1日に実習受入予定) ・参加企業数を増やす方策を考えていきたい。
	④企業に対する障害者理解啓発 【数値目標】 各会場で新規参加企業2社以上		△	※企業啓発セミナーの実施 (3地区) ・障害者雇用企業主の講演をはじめて実施 ・参加企業数 西部 9社(新2) 中部 5社(新) 東部 20社(新)		
○学校教育支援室の充実	①学校教育支援室の利活用(来室・出張支援)の推進 【数値目標】 350件 年間250件→ 300件	教育センター	○	・指導主事とスーパーバイザー(8名)のチームによる支援: 9月末現在 245件 ・指導主事によるアドバイザー派遣事業の効果検証 ・支援によって得られた教育情報の提供	研修の立場でHP開設の推進を進めている。今後は小中学校課と連携し、開設を一層推進したい。	
○鳥取県教育情報 通信ネットワーク (Toriky o-NE T) の充実	①学校ホームページ開設の推進 【数値目標】 小63%、中60%→80%		△	・学校ホームページ開設に係わる (1) 専門研修実施(2回) (2) 土曜日セミナー(2回) (3) 研修主事派遣、相談(随時) ・校長会、教頭会への開設の呼びかけ 【9/11現在の状況】 小66.9% 中63.3%		

主要課題	平成19年度目標	担当課	平成19年9月末時点の中間評価		
			達成度の評価	主な取組状況	ミッションを達成するための課題・問題点 (※達成度の評価が×△の項目は必ず記載)
○学校評価の推進	①外部評価の実施率の向上、内容の充実 【数値目標】 全校での外部評価の実施	高等学校課	◎	平成19年3月には外部評価の実施方法等を定めた学校評価実施要領を策定するとともに、平成19年5月には外部評価委員を対象とした外部評価研修会を開催した。 現在、各学校では、平成19年度の年間評価計画及び自己評価等に対する外部評価を終え、教育委員会では、その報告書を収集して内容を点検しているところである。 平成20年1月～3月にかけては、計画どおり各学校で最終評価を行う予定である。	
○教職員評価・育成制度の充実	①評価者研修の充実 【数値目標】 年3回実施	小中学校課	○	<ul style="list-style-type: none"> 4月12日に教職員評価・育成制度説明会を実施し、全評価者に対し、変更点等についての周知を行った。 5月8日に新任教頭を対象として評価の実際について、5月18日に新任校長を対象として教職員の育成のあり方について研修を深めた。(教育センター実施) 11月中に4回の研修会を開催し、教職員一人一人の目標設定を行う際の考え方や留意点についての理解を深める予定。 先進地視察(大阪府)を行い、他府の実施状況を把握した。小中学校課、高等学校課、特別支援教育室、教育総務課の担当者との協議し、査定昇給の方向性を検討中。職員課の担当者との情報交換を続けている。 	職員課との情報交換をさらに行うとともに、教育委員会の案を作成することが重要。査定昇給を導入している都道府県が少なく参考にできるものがほとんどないため、独自に考える必要があること。
	②査定昇給検討会議の開催 【数値目標】 年3回開催		×		
○教職員評価・育成制度の導入 ↓ ○教職員評価・育成制度の充実	①評価者研修の充実 【数値目標】年3回実施	高等学校課	○	4/12に教職員評価・育成制度説明会を実施し、全評価者に対し、変更点等についての周知を行った。 5/8新任教頭を対象として評価の実際について、5/18新任校長を対象として教職員の育成のあり方について研修を深めた。(教育センター実施) 11月中に4回の研修会を開催し、教職員一人一人の目標設定を行う際の考え方や留意点についての理解を深める予定。	

- 注) 1. 「達成度の評価」欄には、順調に達成しているものは◎、概ね順調に達成しているものは○、達成見込みだが若干課題があるものは△、順調でないものは×を記入してください。
2. 「ミッションを達成するための課題・問題点」欄は、「達成度の評価」欄に×を記入したもののみ記入してください。

主要課題	平成19年度目標	担当課	平成19年9月末時点の中間評価		
			達成度の評価	主な取組状況	ミッションを達成するための課題・問題点 〔※達成度の評価が×△の項目は必ず記載〕
	②査定昇給検討会議の開催 【数値目標】年3回開催	高等学校課	×	先進地視察（大阪府）を行い、実施状況を把握した。関係課が連携して査定昇給の方向性を検討中で、職員課とも情報交換を行っている。	査定昇給を導入している都道府県が少なく、参考にできるものがほとんどないため、職員課との情報交換をさらに行いつつ、独自案を考案していく。
○学校の自主・自立促進	①裁量予算学校独自事業の拡大・内容充実 【目標】裁量予算対象事業の拡大	高等学校課 (教育環境課)	◎	高等学校課事業のうち、学校評議員制度推進事業、外部評価推進事業、文化部活動充実支援事業を、体育保健課事業のうち、ダニアレルゲン検査キット購入費費、世界に架けよう夢・青春事業（高等学校スポーツ国際交流）を、新たに裁量予算へ組入	
○新しい教職員研修体系の実施 (教職員の資質向上)	①研修満足度の向上(受講後アンケート) 【数値目標】 悉皆：3と4を合わせて80% 希望：3と4を合わせて85%	教育センター	◎	<ul style="list-style-type: none"> 各ステージの研修の運営方法や内容の工夫・改善 受講後の講座アンケートの工夫・改善 教職員研修実施協議会による外部評価の工夫 <p>【8月末現在の状況(達成講座数/実施講座数)】 悉皆：100% (108/108) 希望：98% (81/83)</p>	
	②授業でICTを活用して指導できる教員の増 70% 【数値目標】 90% 〔 文部科学省の調査基準変更により本県の実態が54.4% (H19.3月) となった。そのため19年度数値目標を70%に変更。 〕		○	<ul style="list-style-type: none"> 県内外の授業実践者による、授業でのICT活用に特化した研修の実施 (小学校国語・算数・音楽) ICT活用指導力向上研修実施 (eラーニング型研修+集合研修) <p>【次回調査はH20.3月実施予定】</p>	

- 注) 1. 「達成度の評価」欄には、順調に達成しているものは◎、概ね順調に達成しているものは○、達成見込みだが若干課題があるものは△、順調でないものは×を記入してください。
2. 「ミッションを達成するための課題・問題点」欄は、「達成度の評価」欄に×を記入したもののみ記入してください。

主要課題	平成19年度目標	担当課	平成19年9月末時点の中間評価														
			達成度の評価	主な取組状況	ミッションを達成するための課題・問題点 〔※達成度の評価が×△の項目は必ず記載〕												
○学校図書館を利用した学びの充実	①貸出し冊数の増 【数値目標】1割増	高等学校課	△	<p>○貸出し冊数は頭打ちの状況にある。</p> <table border="1"> <caption>県立高等学校における図書貸出冊数</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>冊数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H14</td> <td>80,639</td> </tr> <tr> <td>H15</td> <td>119,846</td> </tr> <tr> <td>H16</td> <td>145,739</td> </tr> <tr> <td>H17</td> <td>180,575</td> </tr> <tr> <td>H18</td> <td>172,094</td> </tr> </tbody> </table> <p>○常勤の図書館司書の配置（配置率100%） ○司書教諭の養成（配置率100%） ○司書教諭研修会の開催（年4回） ○図書館管理システムの導入（平成14年度～） ○蔵書充実事業（13校） ○集団読書等の推進（24校） ○読書キャンペーン活動（24校）</p>	年度	冊数	H14	80,639	H15	119,846	H16	145,739	H17	180,575	H18	172,094	<p>単に貸出し冊数のみで押し量るのではなく、読書内容の充実に向けた取組の充実が必要 →学力向上対策の一環として、読書を通して生き方や社会の有り様を学習し、学習意欲の向上に繋げていけるような取組へと転換していく。</p> <p>日本語の乱れが社会問題となっているところであり、国語などの教科指導の改善とともに、言語力を高める読書指導を各学校の生徒の実態を踏まえつつ充実していくことが必要 →各教科の授業における図書館活用の取組を進めることも手段の一つと考えられることから、授業での図書館利用による教育の成果を、司書教諭が他の教職員へ十分に伝えることができるよう、司書教諭研修の在り方を見直す。</p>
年度	冊数																
H14	80,639																
H15	119,846																
H16	145,739																
H17	180,575																
H18	172,094																
○学校における情報教育への支援	①教職員の図書館利用の啓発強化 【数値目標】 教職員のための図書館利用講座 ：3校で実施	図書館	◎	<p>「教職員のための図書館活用セミナー」2回実施済</p> <p>第1回 平成19年5月17日（木）於：米子高校 参加者：校長、教頭以下教職員26名 テーマ：①学校教育と著作権 ②高等学校図書館に対する新たな視点 ③著作権に関する図書の展示と貸出し</p> <p>第2回 平成19年6月29日（金）於：鳥取工業高校 参加者：教頭以下教職員40名 テーマ：①鳥取県立図書館を使い倒す ②学校図書館で何が出来るか</p> <p>第3回 平成19年10月19日（金） （予定） 於 米子南高等学校</p>													

- 注) 1. 「達成度の評価」欄には、順調に達成しているものは◎、概ね順調に達成しているものは○、達成見込みだが若干課題があるものは△、順調でないものは×を記入してください。
2. 「ミッションを達成するための課題・問題点」欄は、「達成度の評価」欄に×を記入したもののみ記入してください。

【生涯学習環境の整備と活動支援】

主要課題	平成19年度目標	担当課	平成19年9月末時点の中間評価		
			達成度の評価	主な取組状況	ミッションを達成するための課題・問題点 (※達成度の評価が×△の項目は必ず記載)
○公民館活動等県民文化芸術活動の振興	①生涯学習フェスティバルの開催 【数値目標】来場者数 3千人	家庭・地域教育課	○	・開催期間：10月6日(土)～8日(月) ・西部地区市町村、西部教育局を中心とする実行委員会で最終段階の準備を進めている。 ・新聞や県・市町村の広報誌の活用や、リーフレットの配布等により、周知に努めている。	
	②読書フェスティバルの開催 【数値目標】来場者数 3千人		○	・開催期間：12月15日(土)、16日(日) (絵本ワールド in とっとり2007(同実行委員会主催)と併催) ・民間の読書団体、学校図書館・図書館関係者等を中心とする実行委員会で準備を進めており、11月には詳細な内容で広報する。	
○市町村の人権教育の促進	①研修会(小地域懇談会)の現地調査 【数値目標】 8地域	人権教育課	△	現地調査現地状況： 実施済 3地域(境港市、北栄町、岩美町) 実施予定 2地域(江府町、鳥取市) 未実施の市町村へ現地調査受諾の働きかけを継続中	新たに、若桜町、日吉津村、湯梨浜町、八頭町が実施予定に加わり、確実に実施することで目標は達成できる見込み。
	②学習プログラム作成研修会の開催 【数値目標】 学習プログラム作成：20案以上 研修参加者による実施：5割以上		◎	学習プログラム作成研修会を5月～7月で計5回実施 学習プログラムを40案作成 研修参加者の実施状況：実施済 14案 実施予定 12案	
○積極的な情報発信と利用者の拡大	○情報発信、広報活動の充実により利用者増、利用団体増を目指す。 ・出前活動サポートを積極的に展開 【数値目標】 利用者：23千人	船上山少年自然の家	○	・チラシ、ケーブルテレビ、事業所訪問による広報に取り組んだ。 ・各方面からの出前要請に積極的に応じた。 ・利用団体数 約20団体増 利用者数 約1,000人増 9月末見込(昨年比)	
○体験学習法を取り入れた活動の展開とその充実	○活動の目標設定と振返りの充実 ・利用団体の求めるもの(ねらい)を引き出すために事前打合せの充実 ・仲間づくり活動の充実 ・安全な活動保障のための環境整備の徹底 ・スキルアップのための積極的な研修参加	船上山少年自然の家	○	・打ち合わせ用紙に利用者のねらいを明記できるよう改善した。 ・活動エリアの点検・整備を入念に実施している。 ・所内研修会の実施や関係研修会に積極的に参加し、スキルアップに努めている。	

注) 1. 「達成度の評価」欄には、順調に達成しているものは◎、概ね順調に達成しているものは○、達成見込みだが若干課題があるものは△、順調でないものは×を記入してください。

2. 「ミッションを達成するための課題・問題点」欄は、「達成度の評価」欄に×を記入したもののみ記入してください。

主要課題	平成19年度目標	担当課	平成19年9月末時点の中間評価			
			達成度の評価	主な取組状況	ミッションを達成するための課題・問題点 〔※達成度の評価が×△の項目は必ず記載〕	
○地域と連携した喜ばれる食事の提供	①利用者の期待に応えるおいしいメニューの開発	船上山少年自然の家	○	・地産食材を生かした新しい献立の開発を進めている。(3品)		
○特色ある体験活動の提供と情報提供 (活動プログラムの充実)	①ねらいを明確にした活動プログラムの作成と提供(関連施設連携プログラムを含む) 【数値目標】 19年度作成、20年度実践検証	大山青年の家	×	○構想検討 ○資料収集 ○周辺施設との調整	○資料収集に時間を費やしてしまいが、具体的に活動の進捗ができていかなかったことは、大いに反省すべき点である。	
	②目標達成率の向上 【数値目標】 新規→〈達成した〉80%		○	○事前打合せの充実と目標の共有 ○活動の振り返りと次の目標設定 【数値目標の達成状況】 ・達成した62% 概ね達成した38%	○これからのスケジュールを考えると、年度内作成、実践、検証は厳しい。目標を修正する必要がある。少し時間をかけて作成し、20年度に検証・修正という流れに変更も考えている。	
	(生涯学習実践の場としてあらゆる年代の利用促進)		①幼児及び高齢者の利用促進 【数値目標】 (幼児500人→600人、 高齢者80人→160人)	○	○各市町村教育委員会、公民館への案内 ○地区社会教育担当者会及び公民館職員研修会での案内 ○保育園・幼稚園については個別に案内及び周知 【数値目標の達成状況】 幼児の利用 350人 (4団体) 高齢者の利用 191人 (3団体) 【参考】 ※8月末現在 利用者数 18,963人(昨年度比+36人) 利用団体数 179団体(昨年度比+3団体)	○幼児の利用は今後の入所状況をみると、数値目標達成は可能である。増えつつあり、HP等で紹介し周知を図る。
	(情報発信、広報活動の推進)		①HPの内容充実と更新頻度向上 【数値目標】最低週1回以上	○	○県広報紙・新聞及び地域のCATVを活用した主催事業等の周知。 ○HPの新着情報のコーナーを最新情報へ常時更新(主催事業の案内、大山の自然等) 【数値目標の達成状況】 達成しつつある。 さらに更新頻度を高めていきたい。	

- 注) 1. 「達成度の評価」欄には、順調に達成しているものは◎、概ね順調に達成しているものは○、達成見込みだが若干課題があるものは△、順調でないものは×を記入してください。
2. 「ミッションを達成するための課題・問題点」欄は、「達成度の評価」欄に×を記入したもののみ記入してください。

主要課題	平成19年度目標	担当課	平成19年9月末時点の中間評価																																												
			達成度の評価	主な取組状況	ミッションを達成するための課題・問題点 (※達成度の評価が×△の項目は必ず記載)																																										
○県内図書館登録者(利用者)の増 ↓ ○図書館の社会的役割の普及啓発・促進	①「図書館利用の高度化」促進 【数値目標】 出前図書館等の実施：20回	図書館	◎	1 出前図書館 計32回実施済 (ビジネス支援関連18回、他14回) 今後も実施予定 2 会議、イベント等の際の図書展示、図書リスト提供、図書館の取組紹介 出前図書館併設時以外でも20回以上実施済 今後も実施予定																																											
○図書館を利用した学びの推進 (地域図書館の充実への県立図書館の支援)	①図書館同士の連携による機能強化 【数値目標】 県立図書館・市町村立図書館の相互展示の実施：年間10回	図書館	◎	計6回実施済 (ビジネス支援関連5回、他1回) 今後1回以上予定 他に高等学校、大学での展示を多数実施している。																																											
○郷土・環日本海情報発信の強化	①郷土・環日本海情報発信事業の実施 【数値目標】年間3回	図書館	◎	計3回実施済(うち1回は相互展示の再掲) 今後3回予定																																											
○県立博物館を核とした県内ネットワーク ↓ ○博物館の魅力向上と利用者増	①博物館主催事業における利用者数の増 【数値目標】 本館：23年度末：9万人 学習館：23年度末：1万人 計 10万人	博物館	×	<p>【本館】</p> <table border="0"> <tr> <td>4～8月の利用者数</td> <td>3.4万人</td> </tr> <tr> <td>内訳</td> <td></td> </tr> <tr> <td>企画展(3本)</td> <td>1.7万人</td> </tr> <tr> <td>常設展</td> <td>1.6万人</td> </tr> <tr> <td>普及事業</td> <td>0.1万人</td> </tr> <tr> <td>9月以降の利用者数(見込)</td> <td>3.4万人</td> </tr> <tr> <td>内訳</td> <td></td> </tr> <tr> <td>企画展(4本)</td> <td>1.1万人</td> </tr> <tr> <td>県展</td> <td>0.8万人</td> </tr> <tr> <td>常設展</td> <td>1.0万人</td> </tr> <tr> <td>普及事業</td> <td>0.5万人</td> </tr> </table> <p>【学習館】</p> <table border="0"> <tr> <td>4～8月の利用者数</td> <td>0.37万人</td> </tr> <tr> <td>内訳</td> <td></td> </tr> <tr> <td>常設展</td> <td>0.34万人</td> </tr> <tr> <td>普及事業</td> <td>0.03万人</td> </tr> <tr> <td>9月以降の利用者数(見込)</td> <td>0.27万人</td> </tr> <tr> <td>常設展</td> <td>0.25万人</td> </tr> <tr> <td>普及事業</td> <td>0.02万人</td> </tr> </table> <p>19年度の利用者数(見込)</p> <table border="0"> <tr> <td>本館</td> <td>6.8万人</td> </tr> <tr> <td>学習館</td> <td>0.6万人</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>7.4万人</td> </tr> </table> <p>(達成率 約74%)</p>	4～8月の利用者数	3.4万人	内訳		企画展(3本)	1.7万人	常設展	1.6万人	普及事業	0.1万人	9月以降の利用者数(見込)	3.4万人	内訳		企画展(4本)	1.1万人	県展	0.8万人	常設展	1.0万人	普及事業	0.5万人	4～8月の利用者数	0.37万人	内訳		常設展	0.34万人	普及事業	0.03万人	9月以降の利用者数(見込)	0.27万人	常設展	0.25万人	普及事業	0.02万人	本館	6.8万人	学習館	0.6万人	計	7.4万人	<ul style="list-style-type: none"> ・広報、PR戦術の見直しと強化 ・集客力、話題性のある展覧会の企画と運営 ・利用者ニーズの把握と満足度向上 ・駐車場の確保
4～8月の利用者数	3.4万人																																														
内訳																																															
企画展(3本)	1.7万人																																														
常設展	1.6万人																																														
普及事業	0.1万人																																														
9月以降の利用者数(見込)	3.4万人																																														
内訳																																															
企画展(4本)	1.1万人																																														
県展	0.8万人																																														
常設展	1.0万人																																														
普及事業	0.5万人																																														
4～8月の利用者数	0.37万人																																														
内訳																																															
常設展	0.34万人																																														
普及事業	0.03万人																																														
9月以降の利用者数(見込)	0.27万人																																														
常設展	0.25万人																																														
普及事業	0.02万人																																														
本館	6.8万人																																														
学習館	0.6万人																																														
計	7.4万人																																														

主要課題	平成19年度目標	担当課	平成19年9月末時点の中間評価		
			達成度の評価	主な取組状況	ミッションを達成するための課題・問題点 (※達成度の評価が×△の項目は必ず記載)
○歴史・文化財の活用(県内の優れた文化財の積極的な情報発信と活用)	①国・県指定、国登録に向けた文化財の指定、登録 【数値目標】 11件→12件	文化課	◎	国指定重要文化財1件、国登録文化財7件が新たに指定・登録。国史跡として2件を申請し、国登録文化財2件が答申済(告示待ち)。県指定に向けた名勝庭園の測量調査1件と無形文化財保持者候補1名の調査を実施。 国指定重要文化財：旧美敷水源地水道施設(鳥取市) 国登録文化財：倉吉市役所本庁舎(倉吉市)ほか6件 国史跡：青谷上寺地遺跡ほか1件申請中 国登録：山陰民具(倉吉市)ほか1件答申済	三徳山の調査研究には、既に世界遺産に登録されている「紀伊山地の霊場と参詣道」、世界遺産登録を目指す同種の歴史文化遺産との比較研究も含め、多角的、長期的な取り組みが課題。
	②青谷上寺地遺跡の国史跡指定の実現		◎	・7月30日国史跡指定申請書提出 ・11月中旬答申、1～2月に官報告示の予定 整備計画を考える上で必要不可欠な遺跡中心域は、できる限り早期に公有化する。(指定地全体の公有化について平成20～29年度まで債務負担行為済み)	
	③三徳山の世界遺産登録に向けた学術調査の推進と支援		○	・世界遺産暫定一覧表記載資産の候補(継続審議案件)となっているため、12月中の提案書再提出に向けて、三朝町と連携し準備中。 ・三徳山は、「自然環境」「建造物」「美術工芸」「民俗」等が密接に関係した複合遺産であることから、調査研究に当たってサポートを行っている。	
	④県内外におけるシンポジウム等を通じての弥生の王国の情報発信		○	・県内シンポジウム 10月14日(日)開催予定 県民文化会館小ホール ・県外シンポジウム 2月9日(土)開催予定 中電ホール(名古屋市中区) 名古屋事務所、中日文化センターの協力を得ながら計画を進めている。 ・名古屋市での出前講座(中日文化センター共催) 鳥取池田家32万石―揚羽蝶の時代― 6回 鳥取倭人伝(10月～) 4回 ・第2回とっとり弥生の王国の謎を解く論文アイデア募集 応募数 論文：17作品 アイディア：249作品 表彰式 10月14日(日) 県民文化会館小ホール 第3回については、12月募集開始予定	

- 注) 1. 「達成度の評価」欄には、順調に達成しているものは◎、概ね順調に達成しているものは○、達成見込みだが若干課題があるものは△、順調でないものは×を記入してください。
2. 「ミッションを達成するための課題・問題点」欄は、「達成度の評価」欄に×を記入したもののみ記入してください。

主要課題	平成19年度目標	担当課	平成19年9月末時点の中間評価		
			達成度の評価	主な取組状況	ミッションを達成するための課題・問題点 (※達成度の評価が×△の項目は必ず記載)
○文化芸術の振興 (芸術作品を発表したり、優れた文化芸術に触れる機会の創出)	①本物の舞台芸術体験事業、芸術鑑賞教室等への参加校 【数値目標】101校→90校 数値目標減少理由：H19年度から、公立文化施設公演事業(H18年度実績は27校)が廃止になったため	文化課	○	芸術鑑賞教室等への参加は、96校で実施予定。9月末時点での参加実績は、35校。	
	②ジュニア県展の定着化		○	運営委員会で開催要項等の実施方法について検討し、開催要項・ポスター等を各学校等へ配布済。出品受付は、10/2～4の予定。	
○埋蔵文化財の県内外への情報発信	①県内外での出前講座の実施 【数値目標】 文化財主事1人2回	埋蔵文化財センター	○	【実績】県内－6回。県外－2回 5月－名古屋で1回、6月－鳥取市で2回、7月－米子市で1回、8月－鳥取市で1回、智頭町で1回、9月－鳥取市で1回、東京で1回 【予定】県内－0回、県外－9回 10月－東京で1回、兵庫で1回、11月－広島で1回、1月～3月－広島で2回、名古屋で2回、熊本で1回、10月～3月－大阪で1回	
	②青谷上寺地遺跡の魅力を積極的にアピールするための情報発信。		○	・青谷上寺地遺跡に関連する講演を行った。 県外 1回(東京)、県内 3回 ・発掘調査について、現場を常時公開し、見学者への説明を行うとともに、とりネット上で、発掘調査の情報を発信している。 ・出土建築部材のデータベースをとりネット上で公開し、情報の更新を行っている。 ・県内外の展示に出土品等の貸出を行った。 県外 5件、県内 2件	

- 注) 1. 「達成度の評価」欄には、順調に達成しているものは◎、概ね順調に達成しているものは○、達成見込みだが若干課題があるものは△、順調でないものは×を記入してください。
2. 「ミッションを達成するための課題・問題点」欄は、「達成度の評価」欄に×を記入したもののみ記入してください。

主要課題	平成19年度目標	担当課	平成19年9月末時点の中間評価		
			達成度の評価	主な取組状況	ミッションを達成するための課題・問題点 〔※達成度の評価が×△の項目は必ず記載〕
○情報発信、広報（宣伝）活動の充実	①無料広報媒体（HP・メールマガジン、新聞記事、県及び市町広報等）の積極利用と県外事務所との連携	妻木晩田遺跡事務所	◎	<ul style="list-style-type: none"> ・イベント等の公報掲載 ・HP、メールマガジンによる情報発信 ・中国地方の新聞社へイベント等の情報提供 ・NHK、CATV（米子、鳥取、倉吉、松江）へイベント情報の提供 ・「むきばんだ弥生だより」の発行（6月、9月） 	
	②出前講座、展示会等を活用した情報発信		◎	<ul style="list-style-type: none"> ・発掘調査展（ジャスコ日吉津店、博物館、県庁ギャラリー） ・親子写生会作品展示（ジャスコ日吉津店） ・出前講座（河崎小学校、大山小学校、寿高齢者大学、風土記の丘） 	
○県民局、周辺施設との連携による来訪者の拡大	①年間来場者数の増加 【数値目標】 3.6万人	妻木晩田遺跡事務所	×	<ul style="list-style-type: none"> ・サンセット・ビュー・ウィーク（8/11～8/17） ・土日・祝祭日の古代体験の実施（7/25～11/23） ・イベント参加者は昨年よりかなり増加しているが、春先の低温、6、7月の長雨、8月の猛暑、9月の残暑の影響もあり、一般来場者数は減少、全体では昨年並の来場者数にとどまっている。 【9月末目標達成率】 54.3%（19,556人／36,000人） 	<ul style="list-style-type: none"> ・団体来場者数、特に観光客数が減少。 ・天候により、来場者数が大きく左右される。
	②学校等教育関係団体の利用促進 【数値目標】 35校→38校		×	<ul style="list-style-type: none"> ・地元小学校を訪問。 ・米子市中学校社会科研究会を体験学習室で開催 ・岡山県中学校への利用依頼文書送付 ・9月末利用実績 17校（達成率：45%） ・公民館へのチラシ配布 	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校は授業時数確保やバス代の関係で増加は困難な状況。 ・生涯学習という位置づけで、出前講座を含め、公民館等へ利用を働きかける。
	③近隣類似施設とのイベント・企画の連携		○	<ul style="list-style-type: none"> ・わくわく探検隊（大山青年の家との連携事業） ・こども古代自然探検隊（米子市、大山町、大山青年の家との連携事業） ・秋麗まつりに、初めて米子市、大山町がブースを出展。 ・大山山麓観光開発調査（西部県民局、大山町との連携） 	

- 注) 1. 「達成度の評価」欄には、順調に達成しているものは◎、概ね順調に達成しているものは○、達成見込みだが若干課題があるものは△、順調でないものは×を記入してください。
2. 「ミッションを達成するための課題・問題点」欄は、「達成度の評価」欄に×を記入したもののみ記入してください。

主要課題	平成19年度目標	担当課	平成19年9月末時点の中間評価		
			達成度の評価	主な取組状況	ミッションを達成するための課題・問題点 (※達成度の評価が×△の項目は必ず記載)
(スポーツの振興)	①県民の運動・スポーツ実施率の向上 【数値目標】 44.3%→50%(H22)	スポーツセンター	○	スポーツ実施率の数値目標への具体的な動きがまだまだであるが、市町村へ働きかけたい。 (次回調査は、平成21年に予定) 冊子「生涯学習とっとり」114号(10月初旬発行)に「本県生涯スポーツの推進」ということで県民の運動・スポーツ実施率に関する記事を掲載。 今後も生涯スポーツ関連事業(県民スポレク・スポレクトリピーフェスタ等)で啓発・推進する。	
	②競技力の向上 【数値目標】 国体成績：30位台以内			9月29日～10月9日 秋田県で開催 競技団体との連携を図りながら、秋田国体に向けて、競技力向上対策事業に取り組んでいる。	
	③総合型地域スポーツクラブの創設支援 【数値目標】 13市町→19市町村(H22)		◎	9月末現在で、15市町30クラブ(設立及び設立準備)が活動を行っている。 今後更に未設置の4町村へ、クラブ創設についての話し合いを進めていくことにしている。	

- 注) 1. 「達成度の評価」欄には、順調に達成しているものは◎、概ね順調に達成しているものは○、達成見込みだが若干課題があるものは△、順調でないものは×を記入してください。
2. 「ミッションを達成するための課題・問題点」欄は、「達成度の評価」欄に×を記入したもののみ記入してください。

【家庭・地域との連携・啓発】

主要課題	平成19年度目標	担当課	平成19年9月末時点の中間評価																	
			達成度の評価	主な取組状況	ミッションを達成するための課題・問題点 〔※達成度の評価が×△の項目は必ず記載〕															
○心とからだいきいきキャンペーンの徹底	①国公立の保育所・幼稚園・小学校・中学校・高等学校でのキャンペーン認知率の向上 【数値目標】100%	教育総務課	×	<ul style="list-style-type: none"> ・推進会議の開催（H19.7.9） ・保護者アンケートの実施（5月） ・支援隊の募集状況（18件） ・優れた草の根実践の募集状況（29件） ・各種広報活動の実施（チラシ配布、ホームページでの広報等） ・実践活動発表大会は在り方を検討中 	<ul style="list-style-type: none"> ・理解を示す一定層だけには浸透した。理解を示さない、また、今まで対象とならなかった層に対するPRの手法が課題 ・このため、今後は他部局と連携してキャンペーン認知率の向上に努める ・指導主事、管理主事による学校訪問の機会ごとに啓発を行ってほしい（特に幼、保、小） 															
○企業との連携による従業員（保護者）の家庭教育参加促進	①家庭教育推進協力企業の拡大 【数値目標】 67社→100社	家庭・地域教育課	◎	<ul style="list-style-type: none"> ・協定締結状況（H19.7.11現在）76社（10月4日の協定式で110社に増加） ・東・中・西部地区で協力企業との懇談会を実施 ・企業の様々な集まりに出向いて協力を呼びかけ 																
○高校生マナーアップさわやか運動	①高校生マナーアップさわやか運動の県民運動としての取組の拡大 【数値目標】 NPOや社会教育関係団体など協力者数の拡大	高等学校課	○	<p>○順調に参加者・団体を増やしている。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>期間</th> <th>参加者</th> <th>参加者の構成</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>18.4.25 ～28</td> <td>約 900名</td> <td>教職員、生徒、保護者、県教育委員会、県企画部、NPO未来、青少年育成鳥取県民会議</td> </tr> <tr> <td>18.9.19 ～22</td> <td>約 2,200名</td> <td>教職員、生徒、保護者、県教育委員会、県企画部、NPO未来、青少年育成鳥取県民会議、青少年育成市町村民会議、更生保護女性会、JR職員、警察官</td> </tr> <tr> <td>19.4.24 ～27</td> <td>約 2,600名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>19.9.18 ～21</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>○運動期間外の平素からの取組についても県連合婦人会の協力を得ることができることとなり、腕章50個をお渡ししたところである。</p>	期間	参加者	参加者の構成	18.4.25 ～28	約 900名	教職員、生徒、保護者、県教育委員会、県企画部、NPO未来、青少年育成鳥取県民会議	18.9.19 ～22	約 2,200名	教職員、生徒、保護者、県教育委員会、県企画部、NPO未来、青少年育成鳥取県民会議、青少年育成市町村民会議、更生保護女性会、JR職員、警察官	19.4.24 ～27	約 2,600名		19.9.18 ～21			
期間	参加者	参加者の構成																		
18.4.25 ～28	約 900名	教職員、生徒、保護者、県教育委員会、県企画部、NPO未来、青少年育成鳥取県民会議																		
18.9.19 ～22	約 2,200名	教職員、生徒、保護者、県教育委員会、県企画部、NPO未来、青少年育成鳥取県民会議、青少年育成市町村民会議、更生保護女性会、JR職員、警察官																		
19.4.24 ～27	約 2,600名																			
19.9.18 ～21																				

- 注) 1. 「達成度の評価」欄には、順調に達成しているものは◎、概ね順調に達成しているものは○、達成見込みだが若干課題があるものは△、順調でないものは×を記入してください。
2. 「ミッションを達成するための課題・問題点」欄は、「達成度の評価」欄に×を記入したもののみ記入してください。

主要課題	平成19年度目標	担当課	平成19年9月末時点の中間評価		
			達成度の評価	主な取組状況	ミッションを達成するための課題・問題点 〔※達成度の評価が×△の項目は必ず記載〕
○NPO、地域団体と連携した取組み	①とっとり発メディアとの接し方フォーラム、不登校・引きこもりフォーラム等の開催 【目標】 ・教職員の研修強化 ・ケータイ・インターネット教育推進員による学習会（30回） ・青少年健全育成条例の見直しに向けての働きかけ（有害情報の除去の努力義務規定） ・保護者、学校、子どもたちの健全育成に関わる団体やNPO、青少年育成県民会議、心とからだいきいきキャンペーン推進会議、家庭教育推進協力企業などとの連携・活用	家庭・地域教育課	○	○メディアの問題については、NPOやPTA、業界関係者等を含む実行委員会において事業を企画・実施。（フォーラム：10月20日（土）） ○教職員研修：・教育センターの10年経験者研修においてケータイ・インターネットの問題に特化した研修科目を実施（7,9月） ・全校種の校長等を対象に研修を実施（9月） ○ケータイ・インターネット教育推進員による学習会（平成19年度4月～9月実績）20回 ○青少年健全育成条例：企画部において改正に向けてパブリックコメントを募集（10月10日締切） ○不登校等の問題については、問題に取り組むNPOに委託して県内NPO間のネットワークを生かした不登校等の子どもたちへの就労体験の場を提供。1月12日（土）のフォーラムについても団体等と連携して開催準備を進めている。	
○教職員の心の健康対策	①小中学校校長会に出向き管理職の意識啓発に努める。 【数値目標】 学校種、都市別に1回以上	福利室	×	郡市校長会（14分割）8箇所に出向き、精神性疾患による休職者の現状と、管理職としての対応のポイント、職員同士の気付きによる早期対応が重要であること等について説明した。 残る6箇所については、10月に開催される校長会に出席予定。	郡の校長会では、しっかり意見交換ができ、事例の検討や個別相談対応へつなげることができた。市部の校長会では、事例が多くあるにもかかわらず意見交換等もなく、管理職としての対応に不足を感じる。今後回数を重ねる必要がある。
○教職員の健康管理（過重労働による健康障害防止）	①長時間勤務者への面接指導の実施 【数値目標】 該当者への面接指導1回以上	福利室	×	医師による面接指導実施校は1校 本人の申し出によることとなっているが、職員の健康管理の面から、時間外勤務が多い職員に対して、各校の健康管理担当医による面接指導を受けさせるよう徹底する。	職員の勤務時間の把握はされており、校長による面接が行われているが、管理職及び本人の健康管理に対する意識が薄い。
○進学奨励資金・育英奨学資金徴収率の向上	①現年度分徴収率の向上 【数値目標】 83%→85%	人権教育課	△	督促状及び文書催告による納付勧奨 徴収率 H19.8末現在 74.8%（前年同期 H18.8末現在 72.9% 1.9ポイント増）	7月末に多額の納期を迎えたところで率は低いが今後85%に近づく。滞納には早期着手を心がける。 長期・悪質滞納者へは、文書催告のみでは効果が薄いため、積極的に法的措置を行う必要がある。
	②過年度分徴収額の向上 【数値目標】 前年度比3割増		×	文書催告による納付勧奨 長期・悪質未納者に対する法的措置（H19：5件和解済み） 今後、長期・悪質未納者について、本格的に法的措置（簡易裁判所への支払督促）を行う予定	